

## 第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 岡本 崇史

1. 日時 令和6年10月2日(水)5限(13:20~14:05)
2. 学年・組 6年B組 男子16名 女子9名 計25名
3. 単元名 ふるさと学習「高野口の歴史」～歴史から学び 未来を描く～  
【わが町高野口魅力 UP(地域活性化)プロジェクト】

### 4. 単元の目標

社会「わたしたちの願いと政治のはたらき」で学んだことをもとに、橋本市のまちづくりについて考えたり、歴史的な建造物や商店街、無形文化財などを調べたりする活動を通して、身近な地域「高野口」を持続可能でより魅力的なまちにする方法を、様々な立場の人の視点で考え、自分たちにできることを提案することができる。

### 5. 指導にあたって(本実践におけるSDGsを達成するためのESDをふまえた授業づくり)

本学級の児童は、社会科「わたしたちの願いと政治のはたらき」で橋本市のまちづくりについて学習した。その中で、待機児童の問題や橋本市の財政課題に触れ、社会情勢について理解を深めてきた。また、租税教室や模擬投票(選挙)活動を通して、自分たちのまちの行政に主体的に参画する必要性を感じている児童が多く見られた。

そこで、本単元では、これらの学習をもとにして、橋本市高野口町の実態を調査するために、インターネットを活用して様々な情報を取り入れたり、実際に見学やインタビューしたりして身近な地域諸課題に目を向けるよう支援してきた。そして、それらの情報をもとに、持続可能でより魅力的なまちにするために自分たちにできることを考えさせたい。

指導にあたっては、子どもたちの興味関心の高い身近な地域諸課題に着目させることで、様々な人の視点に立った解決方法を考えやすくなるとともに、身近な地域を持続可能な魅力的なまちにする大切さを自分事として捉えやすくし、地域の未来を担っていこうとする心情を育てていきたい。また、課題解決に向け、様々な見方・考え方を働かせるために主に社会科と総合的な学習の時間とのカリキュラムマネジメントを行い、教科横断的な学習の中で、これまで身に付けた力(社会科「わたしたちの願いと政治のはたらき」/国語科「聞いて、考えを深めよう」・「構成を考えて、提案する文章を書こう」)が最大限発揮できるよう支援していきたい。

そして、本単元を通じて、自分で考え判断し行動する力(主体性)を高め、未来を創る子どもの育成に努めていきたい。

### 6. 単元のテーマ及び目指すべき児童の主体的な姿

1年生 『自然とのかかわり 人とかかわり』

ふるさとの自然を大切に、見つけたことや遊んだことを友達に伝えることができる。

2年生 『まちとのかかわり』

ふるさとのまちに興味をもち、まちのおすすめを発信することができる。

生活科

**3年生** 『まちを知る まちを守る』

ふるさとのまちを大切に、守っていこうとすることができる。

**4年生** 『地域を守る高野ロレンジャーになろう!』

環境や防災の学習を通して、地域を守ることを考え行動することができる。

**5年生** 『地域への貢献!』

だれもが暮らしやすい社会を目指し、進んで行動できる。

**6年生** 『歴史から学び 未来を描く』

将来を見据え、今できることを考え行動できる。

7. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①インターネットや図書資料を活用して、課題について調べている。</p> <p>②SDGs を意識したまちづくりのよさについて理解している。</p> <p>③地域の現状を捉え、地域のよさや魅力と課題の両面があることを理解している。</p> <p>④地域には、様々な立場の人がいることや、その人々の思いや願いに気付いている。</p> <p>⑤地域社会とのよりよい関わり方に気付いている。</p>	<p>①SDGs を意識したまちづくりについて、必要な情報を集め、わかりやすくまとめている。</p> <p>②よりよいまちづくりのために自分たちができることを、様々な立場から考え、課題を設定している。</p> <p>③よりよいまちづくりのために集めた情報を取捨選択したり、比較したりしながら整理・分析し、具体的な活動計画を考えている。</p> <p>④よりよいまちづくりのために自分たちができることを、わかりやすく提案している。</p> <p>⑤活動を通して、よりよいまちづくりのために自分が携わる方法を考え、提案している。</p>	<p>①SDGs を意識したよりよいまちづくりに関心を持ち、進んで調べたり、考えたりしようとしている。</p> <p>②地域の現状や人々の思いや願いを基に、自分ができることを考え、活動している。</p> <p>③活動を通して感じたことや、友達の提案を生かし、自分ができることを考え、取り組もうとしている。</p>

8. 単元の指導計画(全41時間)

(1) 社会科との関連(6時間扱い)

時間	主な学習活動(○)	ESDの視点に立った主な能力・態度(□)

社会科	1 ～ 6	<p>○橋本市が抱えている諸課題(待機児童)や PR イベント(子育て支援や地域クーポン)を調べ、その理由を考える。</p> <p>○橋本市の人口維持や地域活性化のために様々な取り組みをしていることを理解する。</p> <p>○橋本市の取組は、市民の願いを基に行われていることを理解し、それを実現するための市役所や市議会の働きや取組があることに気付く。</p> <p>○税金の種類や働き、橋本市の収入支出について理解する。(租税教室)</p> <p>○学習したことを生かし、橋本市の未来について考える。</p>	<input type="checkbox"/> 批判的に考える力 <input type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 <input type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 <input type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 <input type="checkbox"/> 進んで参加する態度
-----	-------------	---	--

(2) 単元指導計画(35時間扱い)

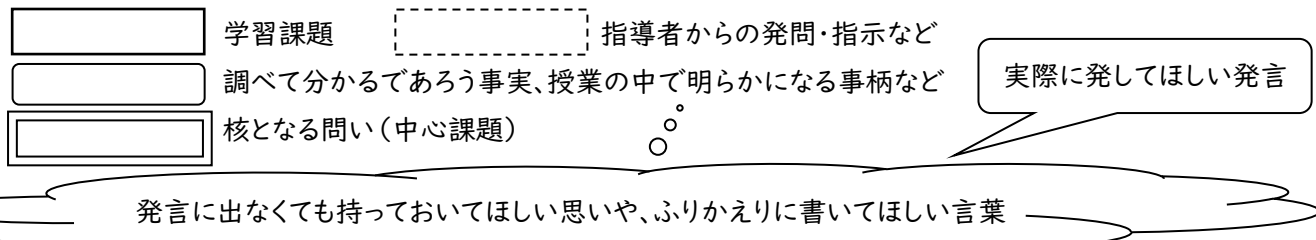
	時間	主な活動(○)と学習課題(◎)	◇評価規準【観点】 <input type="checkbox"/> ESD の視点に立った能力・態度
課題の設定	2	<p>◎橋本市高野口町はどのようなまちづくりをしてきたのかについて考えよう。</p> <p>○高野口町について知っていることを出し合い、ウェビングマップにまとめ、疑問に思ったことやもっと知りたいことを話し合う。</p> <p>○地域学習を深める方法を考える。 →地域の事情に詳しい方に授業を依頼する。(三島英雄先生)</p>	<p>◇橋本市高野口町の歴史に関心をもち、よりよいまちづくりのために進んで調べたり考えたりしようとしている。【態①】</p> <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 <input type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 <input type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力
橋本市高野口町は、どのようなまちづくりをしてきたのだろうか。(歴史的背景を知る)			
情報の収集	6	<p>◎地域の歴史について調べよう。</p> <p>○地域の歴史に詳しい方のお話を聞く。(三島英雄先生の出前授業 5/31)</p> <p>・高野口小学校の歴史 ・高野口小学校の文化的価値(重要文化財) ・高野口小学校のエピソード ・高野口小学校の昔の児童の様子</p>	<p>◇デジタルや図書資料を活用して、課題について調べている。【知①】</p> <p>◇橋本市高野口町の歴史について、必要な情報を集めている。【思①】</p> <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 <input type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力

		・高野口町の歴史的建造物・産業・人物・地名 など	
整理・分析	6	◎地域の歴史について調べたことや見学を通して感じたこと、考えたことなどを整理し、背景を分析しよう。 ○調べたこと、見学を通して感じたことや考えたことをスライドにまとめる。	◇橋本市高野口町の歴史について、集めた情報を、わかりやすくまとめている。【思①】 <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 <input type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力
まとめ・表現	4	◎調べたこと(PC)や見学したことを伝え合おう。 ・浪花堂 6/26 ・金澤寿翁軒 6/27 ・肉の広岡 7/3 ・高野口駅(橋本駅駅長・下村さん) 7/5 ・紀北自動車学校 ・田原川(井浦さん) ・滝の井戸、殿の井戸 など	◇橋本市高野口町の歴史やまちづくりについて理解している。【知①】 <input type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 <input type="checkbox"/> つながりを尊重する態度
課題の設定 (本時2/2時間)	2	◎高野口町のよいところや課題を話し合い、活動の見通しをもつ。話し合いでは、活動の目的(地域活性化)を常に意識し、まちの人たちの思いや願いを自分たちなりに解決方法を考える。また、他の市区町村の地域活性化の例を参考にして、比較・分類しながら目的達成に近づけられるようにする。 ○高野口町のよいところや課題 ・地元の人々に今も愛され続けている。 ・地域のつながりが強く、子どもたちを大切にしまちづくりを行っている。(自治会) ・地域のイベントを企画し、たくさんの人が参加できる機会を設けている。 ・かつては商店街が賑わっていたが、大型商業施設の建設や法律改正に伴い、シャッター街が多くなった。 ・伝統を受け継ぐ人がいない。	◇地域の現状を捉え、地域のよさや魅力と課題の両面があることを理解している。【知③】 <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 <input type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 <input type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力
橋本市高野口町をより持続可能で魅力的なまちにするためにできることは何だろうか。(行動化)			

<p>情報の 収集</p>	<p>5</p>	<p>◎高野口町を持続可能で魅力的なまちにするために、自分たちにできることを考えよう。</p> <p>○自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ調べていない地域の場所やつながりのある地域（高野山）について調べる。</li> <li>・地域のゴミ拾いをする。</li> <li>・地域のイベント（盆踊りや祭り）に積極的に参加する。</li> <li>・地域の文化財や商店街の魅力を伝えるためにパンフレットやポスターを作り、呼びかけを行う。（高野口検定－認定書）</li> <li>・自分たちの活動をホームページや集会で積極的に伝える。</li> <li>・小学校で地域イベントを行う。</li> </ul> <p>◎高野口町を持続可能で魅力的なまちにするために自分の課題を決めて、活動計画を立てよう。</p> <p>○グループごとに活動計画を立てる。</p>	<p>◇よりよいまちづくりのために自分たちにできることを様々な立場から考え、課題を設定している。【思②】</p> <p>◇橋本市高野口町のよりよいまちづくりに関心をもち、進んで調べたり考えたりしようとしている。【態①】</p> <p><input type="checkbox"/>批判的に考える力</p> <p><input type="checkbox"/>多面的・総合的に考える力</p> <p><input type="checkbox"/>コミュニケーションを行う力</p>
<p>整理・ 分析</p>	<p>6</p>	<p>◎高野口町を持続可能で魅力的なまちにするために、計画にもとづいて活動しよう。（高野口・高野山・京都との比較）</p> <p>○自分たちにできることの中で、実行に移していく必要性のある地域課題を取り上げる。また、グループごとに活動を振り返り、よかった点や課題、続けていきたいことについて話し合う。</p> <p>○話し合ったことを学級や学校、地域に伝えるために、提案する準備（スライドにまとめたり、地域広報誌としてまとめたり）をする。</p>	<p>◇地域には、様々な立場の人がいることや、その人々の思いや願いに気付いている。【知④】</p> <p>◇地域社会とのよりよい関わり方に気付いている。【知⑤】</p> <p>◇よりよいまちづくりのために集めた情報を取捨選択したり、比較したりしながら整理・分析し、具体的な活動計画を考えている。【思③】</p> <p>◇活動を通して、よりよいまちづくりに自分が関わる方法を考え、提案している。【思⑤】</p> <p>◇地域の現状、人々の思いや願いをもとに自分にできることを考え、活動しようとしている。【態②】</p> <p><input type="checkbox"/>批判的に考える力</p> <p><input type="checkbox"/>未来を想像して計画を立てる力</p> <p><input type="checkbox"/>多面的・総合的に考える力</p> <p><input type="checkbox"/>コミュニケーションを行う力</p>

			<input type="checkbox"/> 他者と協力する態度 <input type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 <input type="checkbox"/> 進んで参加する態度
まとめ・表現	4	<p>◎グループごとに提案発表をしよう。</p> <p>【ESD発表会(2月)】</p> <p>○ふるさと学習「高野口の歴史」～歴史から学び 未来を描く～のテーマに沿い、わが町高野口魅力 UP(地域活性化)プロジェクトの成果発表を行う。</p> <p>○提案発表に対するふりかえりを行ったり、地域の声を聴くためにアンケート調査を行ったりする。</p>	<p>◇活動を通して感じたことや、友達の提案を生かし、自分にできることを考え、取り組もうとしている。【態③】</p> <input type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 <input type="checkbox"/> 進んで参加する態度

9. 単元構想図「歴史から学び 未来を描く」(全35時間)



みつめる	<p>いつの時代の写真だろう?</p> <p>どこかわかる?</p> <p>昔の小学校だ!</p> <p>町の様子は、今と全然ちがうね。でも、今も残っているものもある。</p>
しらべる	<p>地域の歴史について調べよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街は、昔こんなにもたくさん営業していたんだ。</li> <li>・当時の児童数は、今の4倍以上もいたのはびっくりだ。だから、校舎を移設する案が出されていたんだね。また、校舎の前に川が流れていたことから、災害(浸水)の被害にあわないように同時に川の工事も検討されていたんだ。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治時代から創業しているお店もあるね。そんなに長く続いているんだ。</li> <li>・今も昔も変わらず、当時の面影を残している場所もたくさんありそうだね。(井戸や石碑など)</li> </ul>
ふかめる	<p><u>なぜ、時代を超えて今も残され続けているのだろう？</u></p> <p><u>まずは、地域の人たちの声を聴いてみよう！(出前授業・見学)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高野口小学校は、木造平屋建てで国の重要文化財に指定されている貴重な学校。地域の人たちが声を上げ、後世に残していきたいという強い気持ちを持っている。</li> <li>・浪花堂(和菓子専門店)は、地域の人々の笑顔が見られることがやりがいにつながっている。でも、後継者がいないことが今困っていることである。</li> <li>・金澤寿翁軒(和菓子専門店)は、先代より3代引き継がれてきた老舗のお店。先代の思いを受け継ぎながら、地域が盛り上がっていくことを切に願い、地域のお祭りでも出店として出店している。地域の人はもちろん、外国のお客さんにも日本の伝統を知ってもらいたい。</li> <li>・高野口駅は、地域住民の生活を支える大切な場所。毎日通う学生さんにとっては欠かせないため、今後も後世へ引き継ぎたい。また、デジタル社会への移行に伴い、切符やICカードではなく、スマホ端末でそのまま乗降できるようにもしていきたいと考えている。</li> <li>・広岡精肉店は、地元の常連さんにおいしいお肉を届け、笑顔になってほしいと願っている。また、オリジナルの商品も開発し、家庭生活が豊かになれば嬉しく思う。</li> <li>・地域の方々の思いや願いによって、高野口のまちが守り続けられている。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>地域の人たち<u>みんなの力で</u> 歴史や伝統を守っているんだ！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>地域の人たちの<u>思いや願い</u>が歴史をつないできたことがわかった。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>時代の移り変わりに 応じて変化し続け、 今も残っているのは すごい！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>地域の人々の思いを聞き、 <u>自分たちにできることが</u> <u>あればやっていきたい！</u></p> </div> </div>
ひろげる	<p><u>過去から残されてきたものを未来へと残していくために自分たちにできることを考えよう！</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々の思いを多くの人に知ってもらいたい！そのため方法を考えよう！(広報活動)</li> <li>→ 広報誌「チーム高野口」(手作りマップ・歴史検定・おすすめメッセージ QR コード)</li> <li>→ 児童新聞/地域特集(回覧板で家庭数配付やホームページで呼びかけ)</li> <li>・だれかのために尽力したいと思う。そのために、地域行事に積極的に参加していきたい。</li> <li>・自分たちで考えた地域活性化活動が高野口のまちの魅力を上手く伝えられているかを確認するために、他校との(オンライン)交流を通じて改善のヒントを得る。</li> <li>→ 同じユネスコスクールであり、地域のつながりのある学校(橋本高等学校) 10/25 来校</li> <li>→ 高野山の入口である高野口なので、歴史的につながりのある学校(高野山小学校)</li> <li>→ 他府県との交流を通して、新たな発見や解決策を見出す。</li> <li>・ESD 発表会(授業参観)で大勢の人(地域・保護者)に自分たちの地域活性化の取組を発表し、高野口のまちをみんなで支えていこうとする意識を高める。</li> </ul>

## ESD の視点(見方・考え方)

- ・有限性(限りがある):地域に残る様々な「いいもの(有形・無形文化財や伝統など)」も、何もしなければ、将来無くなってしまう可能性がある。
- ・連携性(力を合わせて):一人ではできないことも、同じ志を(共通の目標)もった人同士で協力すれば大きなことも実現できる。
- ・責任性(責任を持って):「いいもの(有形・無形文化財や伝統など)」を残すためには、人任せにしないで自分事として捉え、行動に移すことが大事である。

## ESD で育てたい資質・能力

### ・批判的に考える力(クリティカルシンキング)

→行政などが取り決めたことも、それをすべて鵜呑みにするのではなく、本当にそれでいいものなのかどうかをしっかりと考え、時には自ら行動を起こすことができる。

### ・未来像を予測して計画を立てる力

→過去・現在・未来のつながりを意識して、今自分たちにできることを考えることができる。

### ・多面的・総合的に考える力

→今に残る伝統を一側面で捉えるのではなく、歴史的背景や地域住民の声を大切にした考えをもつことができる。

### ・コミュニケーションを行う力

→課題解決に向けて、進んで考えたり友達と協力して話し合ったりすることができる。

### ・他者と協力する力

→「自分がどうせやっても。」と思わず、多くの人を巻き込みながら行動することができる。

### ・つながりを尊重する態度

→地域の歴史的背景を学び、伝統を未来へつないでいこうとする考えをもつことができる。

### ・進んで参加する態度

→自分がよいと思ったことは積極的に行動に移すことができる。

## ESD で育てたい価値観

### ・世代間の公正

→大切に受け継がれてきたものは、次の世代へときちんと引き継いでいく責任が今の時代を生きる私たちにはある。

## 関連する SDGs

### 【⑪住み続けられるまちづくりを】

橋本市高野口町を持続可能なまちとして発展させるために、地域課題を見つけ、見学の中でインタビューをしたり、実地調査をしたりして自分たちにできることを考え、行動する。(地域活性化)

### 【⑰パートナーシップで目標を達成しよう】

自分たちの住む地域「高野口」を持続可能でより魅力的なまちにする必要性に気付き、自分たちにできることを様々な立場の人の視点で考えて活動する。また、活動を通して、まちづくりには様々な人が関わっていることや全員が協力して取り組むことの大切さに気付き、今後も主体的に地域に関わろうとする態度を養う。





10.本時の学習(20/35時間)

(1)本時の目標

集めた情報を取捨選択したり比較したりしながら整理・分析し、具体的な活動計画を立てることができる。

【思考・判断・表現③(課題の設定)】

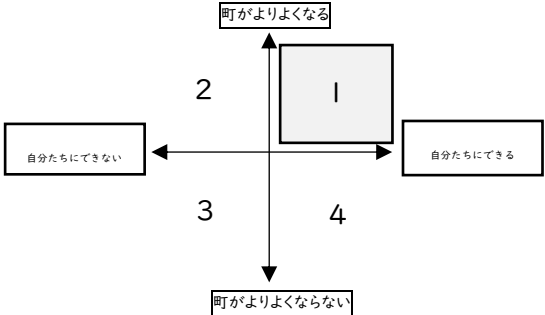
(2)ESDの視点に立った主な能力・態度

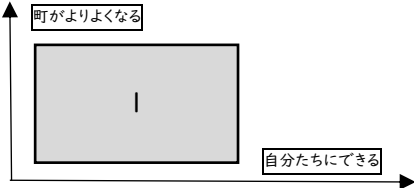
- ・未来像を予測して計画を立てる力
- ・多面的・総合的に考える力
- ・コミュニケーションを行う力

(3)SDGsに関連した授業改善

高野口町を持続可能で魅力的なまちにするために(11.住み続けられるまちづくりを)、自分たちができることを考える。(17.パートナーシップで目標を達成しよう)

(4)本時の展開

時間	児童の学習活動 『教師の主な発問』 予 予想される児童の様子	・指導上の留意点 ◇評価【観点】(方法)
5分	1.活動の目的と今日の学習活動(めあて)を確認する。 目的 身近な地域「高野口」を持続可能でより魅力的なまちにする方法を、様々な立場の人の視点で考え、自分たちができることを提案する。	・現在行っている活動の目的を確かめ、「まちをよりよくしていきたい」という思いを高める。
めあて 集めた情報をもとに地域のよさや課題を見つめ直し、自分たちができることを考えよう。		
15分	2.自分たちができる活動を出し合い、グループで検討する。  予 まちをきれいに保つために地域清掃活動を行う。 予 まちの魅力を再発見するために、他地域とオンライン交流をする。 予 地域の商工会の代表者に出前授業をお	・これまでに調べた様々な地域活動や町の歴史を振り返らせる。(前時に地域活性化の活動を考えさせ、デジタルカードに書き出させておく。) ・思考ツール(座標軸)を活用することで、視点を絞って(2つの視点)話し合いを行えるようにする。 また、話し合いのモデル(座標軸の位置の説明とその理由)を示し、話し合いをスムーズに行えるように支援する。 ◇集めた情報を取捨選択したり比較したりしながら整理・分析し、具体的な活動計画を立てている。【思考・判断・表現③(情報の収集、整理・分析)】(発言・ふりかえり)

	<p>願いし、現状について知る。</p> <p>予地域向けに PR 広告や動画を作成して、授業参観で発信する。など</p> <p>(地域活性化の例)※ネット調べ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化、自然体験</li> <li>・文化財アートで発信</li> <li>・クラウドファンディング(資金調達)</li> <li>・伝統産業の廃材を生かした商品開発『0円パイル』</li> <li>・ウォーキング活動</li> <li>・PR キャラクター</li> <li>・ガイドブック、パスポート作成</li> <li>・間伐材を生かしたエコ商品開発</li> <li>・SDGsイベント企画</li> <li>・地域行事への参画 など</li> </ul>	
10分	<p>3. 全体で話し合い内容を共有する。</p> 	<p>・「よりよい町」「自分たちにできる」が示す範囲に焦点化し、自分の行動がよりよいまちづくりにどのようにつながっていくかをより強く意識させる。</p>
10分	<p>4. 本時の振り返りを行う。</p> <p>『今日の学習のふりかえりです。「わかったことや考えたこと、今後行いたいこと、疑問に思ったこと」の中から選んで書きましよう。』</p>	<p>・振り返りをデジタルポートフォリオ (Word) として蓄積させ、今後の活動に活かすように促す。</p>
5分	<p>5. 次時以降の確認をする。</p>	<p>・次回以降は、課題解決のため情報の収集を行うことを伝え、主体的に行動できるように促す。</p>

## 11. 授業観察の視点

### 【ICT 活用による主体的な学びの姿】

グループ・全体共有の場において、思考ツール（座標軸）の活用はめあて達成のための有効な手立てとなっていたか。(ミライシード・オクリンクプラス)

### 【ESD の視点に立ったふるさと学習の単元構想】

高野口のまちをより魅力的なものにするために、自分事として考え行動していこうとする態度が養われる単元構想となっているか。(単元構想の工夫)

→各学年の取組と比較しながら、「自分ならこうする」という提案を共有できれば幸いです。



#### 14. 考察(授業のふりかえり)

- ・児童が身近に感じられる学習課題なので、イメージが湧きやすかった。また、地元の人たちの困り感からこの活動をしているという本質的な部分を示すことで、「自分事」の意識が強まったのではないかと感じている。
- ・魅力的なまちにするために、自分たちには何ができるのかを考える手立てとして思考ツール「座標軸」は有効的であった。しかし、座標軸の上下「町がよりよくなる」「町がよりよくなる」という視点は児童にとってわかりにくかったのかもしれない。提案としては、「町の中にいる人に向けて」「地域の外にいる人に向けて」といった対象を基準として授業展開のほうがわかりやすかったのではないかという意見も出された。(基準の理解が追いついていない児童も見られた結果から)どちらにせよ、児童の心の中に町の魅力を高めていこうとする実践的意欲の向上のために今後も授業改善を行いたいと思った。
- ・地域活性化の例を事前に下調べしておくことで、本時の学習活動がスムーズになった。しかし、まだまだ調べ切れていないところも多くあったので、もう少し調べ学習の時間を確保しておけばよかったと思う。
- ・グループでの話し合いの場面では、児童同士で司会・進行役を決めスムーズに話し合いを行っていたので、次の学習活動につなげていきたい。
- ・自分ではできないことも他人の力を借りて実現することもできるという考え方を示し、自ら行動できるきっかけを与える必要性を感じた。
- ・「何もしない」と「町がよりよくなる」ということを初めに示したことで、行動することの意義や価値を感じてもらえる児童が多かった。
- ・話し合い活動では、学習の目的やめあてを意識し、考えを広げていく点において課題が見られた。「別の視点で考えたらどうか」「他にもこんな考え方がある」など日頃の教科全般において対話の練習が必要だと改めて感じた。
- ・児童の学習の足跡として、デジタルポートフォリオにふりかえりを蓄積していくことは次の課題解決につながる良い方法だと思った。
- ・「課題の設定」→「情報の収集」につながる本時であったが、地域の人々の力も借りて「自分たちにこんなこともできるの?」というような「やってみよう!」の心を育むより良い機会となると感じた。
- ・地域活性化の行動を自ら選んで決めたのは良かったが、その後具体的にどう行動するのかを問いかけ問題解決していく過程を、子どもたち自身が必要と感じられるような言葉がけを意図的に行っていくことが大切だと感じた。
- ・次の活動に向けて、「自分でやってみよう」と思う活動を選択し、実際に行動に移していこうとする主体的な態度を養うことをねらいとして授業展開できたことは大変価値ある単元構想になっていたのではないかと振り返る。
- ・児童のふりかえりシートには、「自分にできることはやっていきたい。」といった意見が多く見られたので、次回以降の主体的な活動につなげていきたいと感じた。